

観光業界の転職活動状況の調査

 やまところキャリア

調査結果のサマリー

- 仕事を探す上で重視する項目は、重要度が高い順に「仕事内容」「就業環境（雇用形態、勤務地など）」「休日休暇・勤務時間」「収入」「福利厚生」「会社の環境・経営方針」「評価制度」となった。
観光業界では「収入」よりも「仕事内容」や「就業環境」「休日休暇・勤務時間」などが重視されている。
- 「休日休暇・勤務時間」については、若い世代ほど重視され、世代が高くなるにつれて重要度が下がる傾向がある。
- 近年、出社回帰の傾向があるが、リモートワークやWeb面接の導入については、約8割が賛成している。
- 次回転職活動を行う際の希望業界は、観光業界が52.7%、観光業界以外が44.2%、転職の予定無しが3.1%となった。
2021年からの推移をみると、観光業界への転職を希望するとの回答が微増傾向である。
- 観光業界を希望する理由は、多い順に「これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから」「仕事内容が魅力的だから」「グローバルな環境で働きたいから」となった。
- 観光業界を希望しない理由は、多い順に「土日や長期休暇に休みが取れないから」「給与が低いから」「シフト制で労働時間が不安定だから」「拘束時間が長いから」となり、待遇面や働き方に関する懸念が目立った。

調査結果から見る、観光業界の採用課題と提言

1. ワークライフバランスが「採用の前提条件」に

- ・「休日・勤務時間」への関心が「収入」と同程度になり、特に若手世代では「やりがい」と「安心して働ける環境」の両立が強く求められている。
- ・従来の観光業界に多く見られる「長時間労働」や「不規則な勤務体制」は、仕事内容の魅力だけではカバーできない「選ばれない理由」の筆頭となっており、このギャップの解消が急務である。

2. 観光業の根源的な魅力は健在

- ・「ありがとうと言われる瞬間」「特別な旅を支えるやりがい」といった、「誰かの大切な時間に寄り添える仕事」としての魅力は、依然として求職者に強く響いている。
- ・しかし、仕事内容の魅力が高く評価されているからこそ、それを支える環境の有無が「選ばれるかどうか」の決定的な分かれ目になっていると言えるだろう。

3. 採用競争力強化のための提言

- ・「やりがい」に見合う「安心感（働きやすさ）」をセットで提供することが、今後の採用競争力を左右する。
- ・まずは、労働条件の透明性・納得性を高めることが、優秀な人材との接点となる採用の「入口」を広げる最も重要な鍵となるだろう。
- ・業界の常識を問い直し、“働きやすさ”の設計に本気で取り組むことが、人材確保への最短ルートである。

調査概要

目的

インバウンド専門の求人サイト「やまところキャリア」に登録している求職者が、
仕事を探す上で重視することや、観光業界で働くことに対して
どのような意識をもっているかを把握する。

調査対象者	やまところキャリア登録会員約39,000名
調査の時期	2025年9月3日(水)～ 9月10日(水)
調査方法	WEB上のアンケートフォームより入力
調査項目の概要	転職・就職活動状況の調査
回答者数	224名

2020年9月からやまところキャリアに登録している求職者に
「転職・就職活動状況調査」と「地方勤務の意識調査」を
3か月に1回実施し、求職者の動向を定点調査しています。
2025年9月分で21回目の調査になります。

回答者の属性 [性別・国籍・年齢別合計]

		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
性別	男性	3	14	10	26	45	9	107
	女性	7	16	28	41	20	2	114
	無回答	1	2					3
国籍	日本	7	19	38	63	63	11	201
	外国籍	4	13		4	2		23
合計	人数	11	32	38	67	65	11	224
	比率	4.9%	14.3%	17.0%	29.9%	29.0%	4.9%	

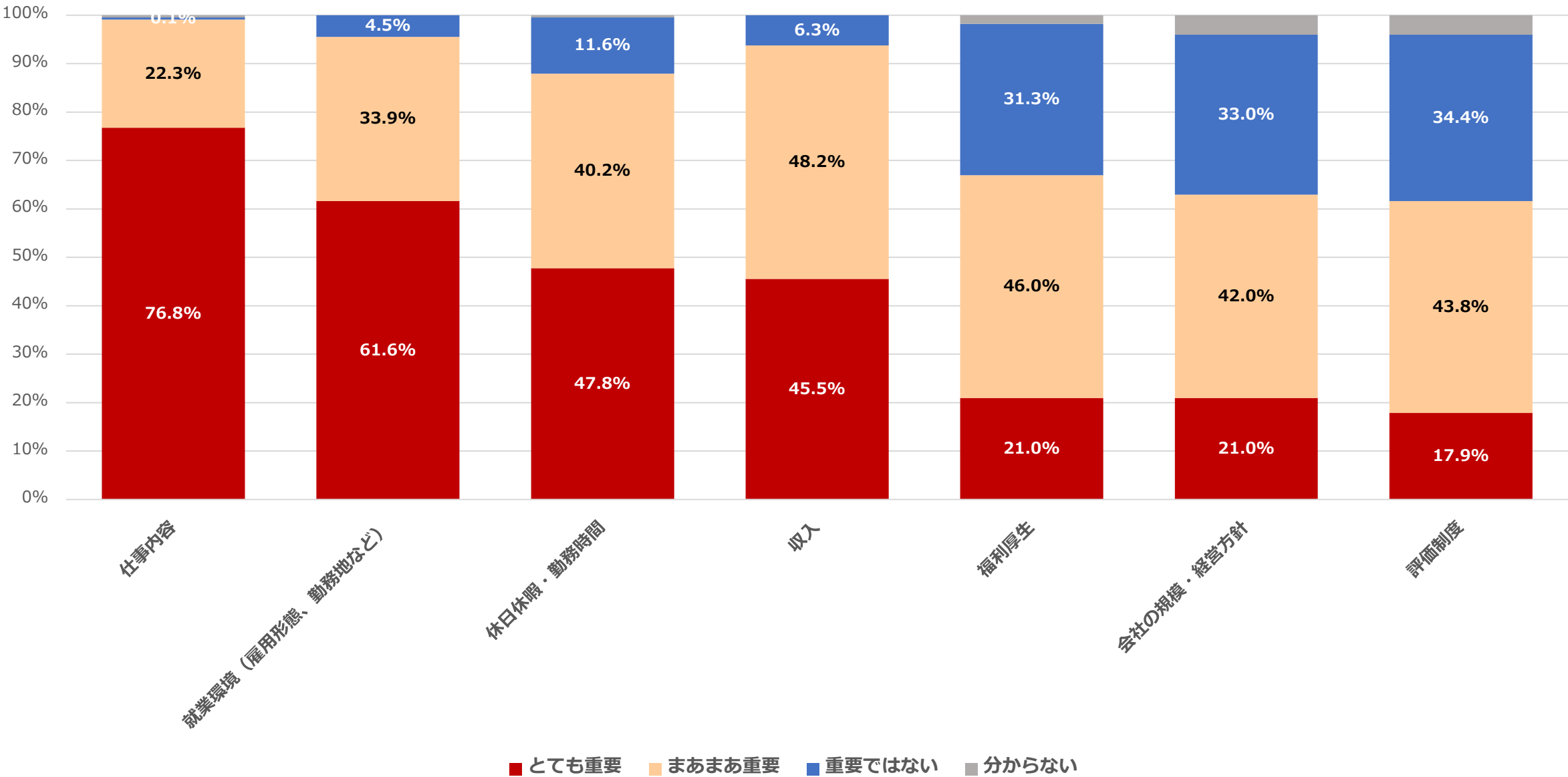
回答者の属性 [収入分布]

	200万円以下	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000万円以上	合計
人数	42	90	60	16	11	5	224
比率	18.8%	40.2%	26.8%	7.1%	4.9%	2.2%	

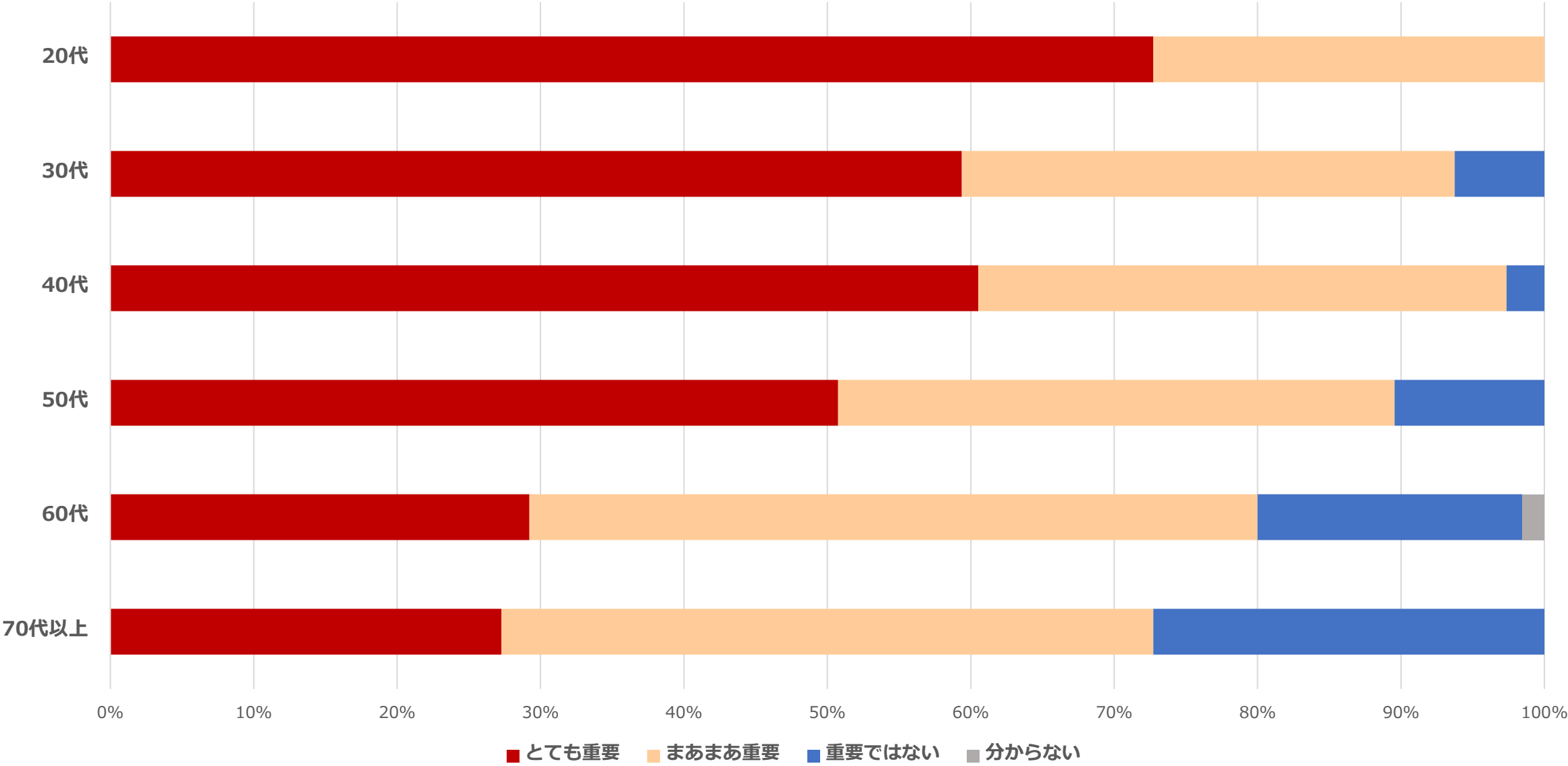
回答者の属性 [最終学歴]

	中学校/高等学校 卒業	短期大学/専門学校 卒業	大学 卒業	大学院 卒業	合計
人数	14	43	135	32	224
比率	6.2%	19.2%	60.3%	14.3%	

仕事を探す際に重視する項目（2025年9月調査）

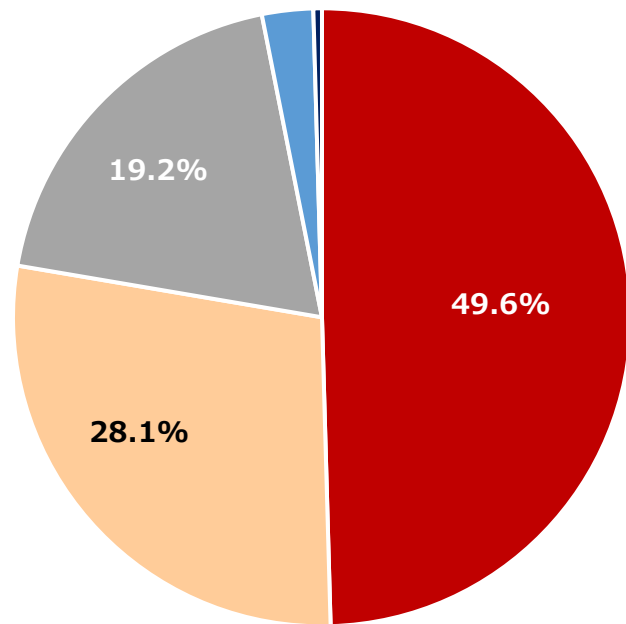


年代別：仕事を探す際の「休日休暇・勤務時間」の重要度（2025年9月調査）



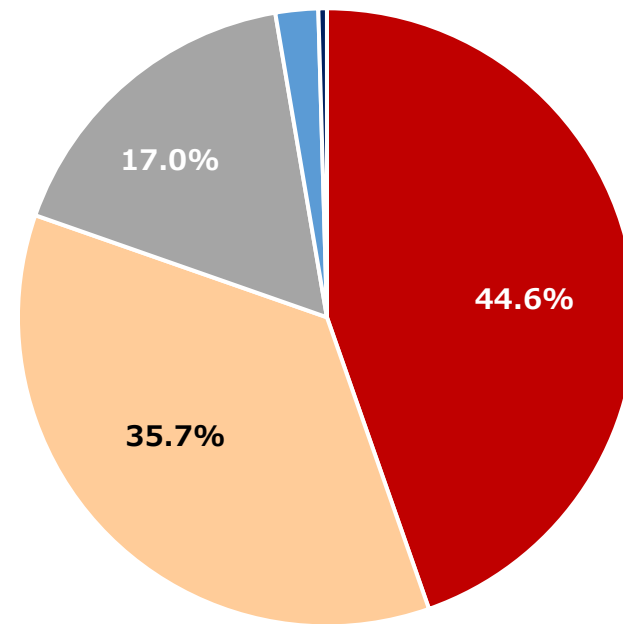
リモートワークおよびWeb面接の導入について（2025年9月調査）

リモートワークについて



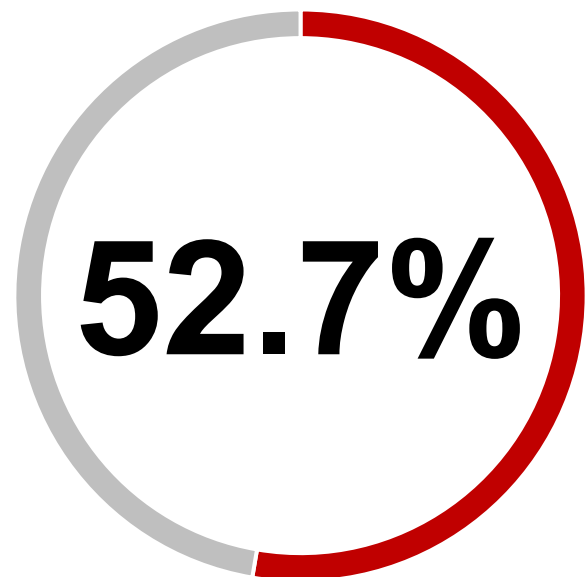
■ 強く賛成 ■ 賛成 ■ どちらとも言えない ■ 反対 ■ 強く反対

Web面接について

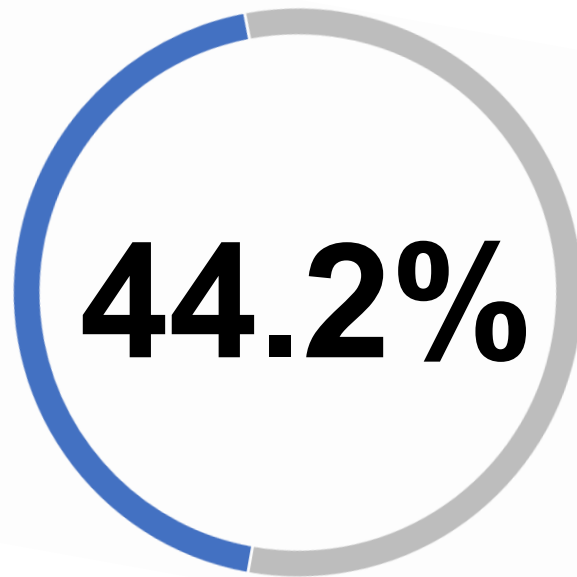


■ 強く賛成 ■ 賛成 ■ どちらとも言えない ■ 反対 ■ 強く反対

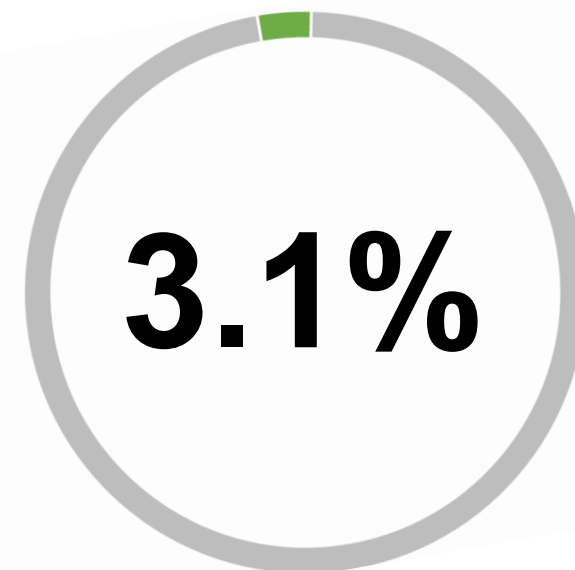
転職する場合の希望業界調査（2025年9月調査）



「観光業界」
を希望する

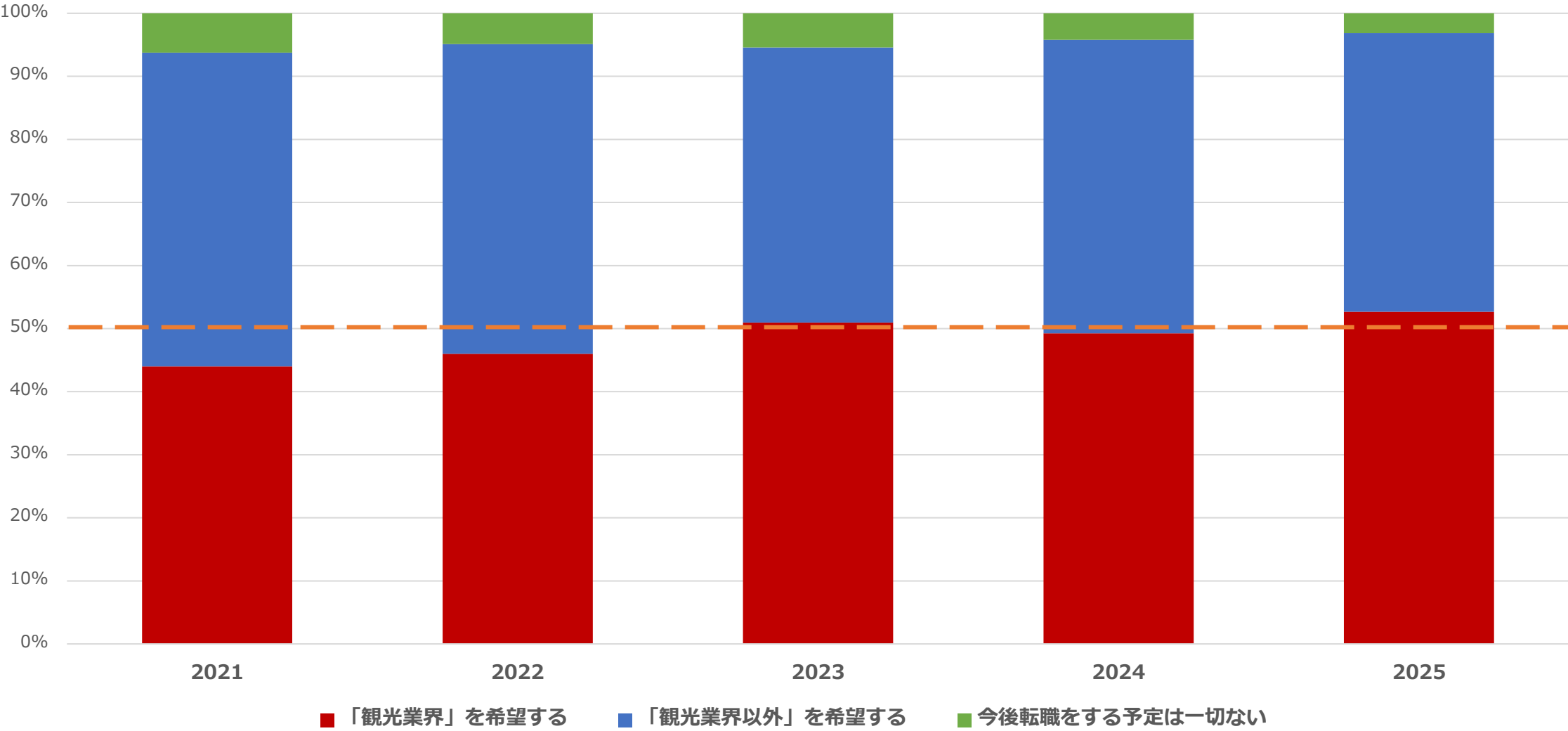


「観光業界」以外
を希望する

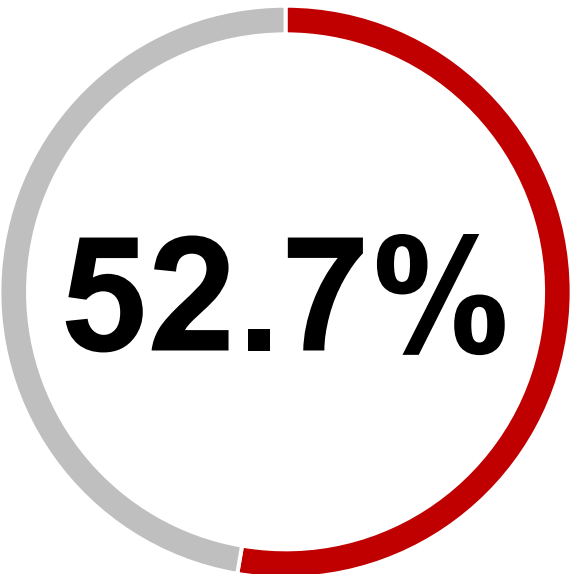


今後転職する
予定は一切ない

転職する場合の希望業界調査（2021年～2025年の推移）



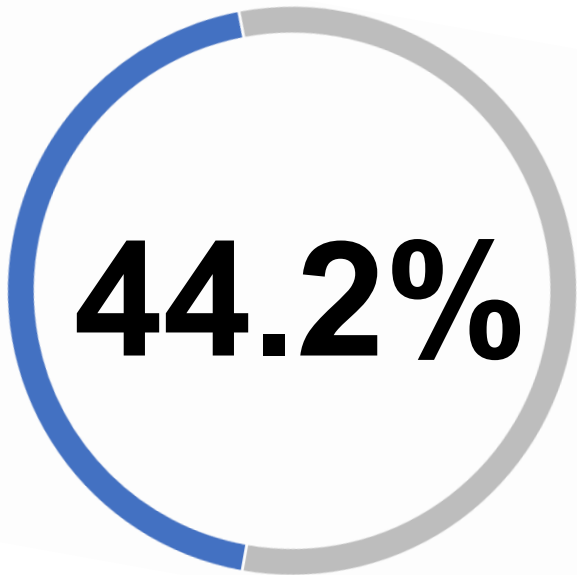
転職する場合の希望業界調査（2025年9月調査）



「観光業界」
を希望する

順位	観光業界を希望する理由（複数回答）	回答率
1	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	52.5%
2	仕事内容が魅力的だから	50.8%
3	グローバルな環境で働きたいから	50.0%
4	やりがいのある仕事だから	45.8%
5	観光業は将来性のある業界だから	24.6%
6	社会的意義のある仕事だから	22.9%
7	観光系の学問を学んでいる、もしくは学んでいたから	21.2%
8	ダイバーシティのある（性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい）業界だから	21.2%
9	他業界でゼロからスタートするのが不安だから	6.8%
10	収入面が自身の希望と合っているから	3.4%

転職する場合の希望業界調査（2025年9月調査）



「観光業界」以外
を希望する

順位	観光業界を希望しない理由（複数回答）	回答率
1	土日や長期休暇に休みが取れないから	40.4%
2	給与が低いから	30.3%
3	シフト制で労働時間が不安定だから	29.3%
4	拘束時間が長いから	29.3%
5	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	21.2%
6	他に目指している業界があるから	18.2%
7	仕事内容に魅力を感じないから	7.1%
8	希望する職種がないから	6.1%
9	将来性がない業界だと思うから	5.1%
10	成長の機会がないから	5.1%